

お盆

平成23年7月第2週放送

もうすぐお盆がやってきます。お盆は先祖供養の行事です。お盆の期間には、それぞれの家で盆ぼんだな棚を作ります。ご先祖様のお位牌をおまつりし、果物や野菜などのお供え物をし、ご先祖様を家にお迎えします。

多くの地域では、お坊さんだんかがお檀家さんの家を回り、その盆棚の前で供養のお経を唱えます。これを棚たなぎょう経といいます。お盆の期間に、お坊さんを見かけることが多いのは棚経のためにお檀家だんかさんの家を回っているからです。

現在は住宅の都合で出来ないお宅も増えましたが、ご先祖様をお迎えする際は、道に迷わず帰って来られるようにと、玄関の外で迎え火むかびをたき、送る際にも迷わず帰れるように道を照らす送り火をたきます。

この時にご先祖様が乗り物として使うための精霊馬しょうりょううまという、キュウリの馬・ナスの牛も盆ぼんだな棚にお供えをします。キュウリの馬には少しでも早く家に帰って来られるように、ナスの牛にはできるだけゆっくり長く家にいられるようにという願いが込められているのです。

お盆は、ご先祖様をお迎えしとも共に過ごしながら、改めてご先祖様や亡くなられた方々を思い、感謝をする期間でもあります。

私たちは、今の自分に至るまで、両親や祖父母、さらにその前にいた多くのご先祖様の「いのち」があって生まれて来ているのです。今の私がいるのは、ご先祖様がいて、その「いのち」がつながってきたからなのです。私たちはそのつながってきた「いのち」を受けついでいるのです。お盆はその多くの「いのち」に気づき、私にまで「いのち」をつないで下さった、ご先祖様に対して感謝をする期間なのです。

今年のお盆は、ぜひお子さんやご家族の方と一緒に盆ぼんだな棚を作り、迎え火をたき、ご先祖様や亡くなられた方々をお迎えし、お盆の期間には共に過ごしながら、あらためて、つながって受けつがれている「いのち」に対して感謝して過ごしてみませんか。